

平成29年度の決算を審査し、「指摘要望事項」を市長に提出しました!!

市の予算は使って終わりではありません。市長は予算がどのように使われたのかを「決算」にまとめ、議会に議案として提出します。議会は、この決算の内容を厳しい目でチェックし、予算の使われ方が適正であったか、十分な効果をあげられていたかなどを審査します。そして「今後の市政運営に反映させる」ために、その結果を「指摘要望事項」として、市長に提出します。



平成29年度 歳入歳出決算を 認定しました。

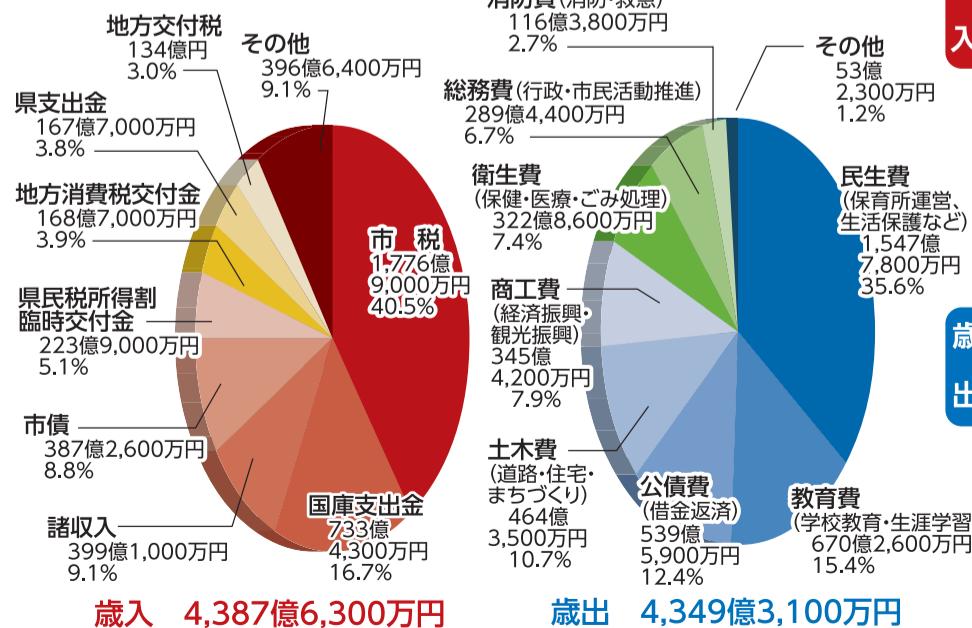
決算審査特別委員会の詳しい内容は、4・5面に掲載しています。

平成29年度一般会計および特別会計などの決算議案については、本会議で4会派の代表が質疑を行ったほか、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査を行いました。その結果、各会計決算を原案どおり認定しました。

決算審査特別委員会では、指摘要望事項をとりまとめたほか、各会派が決算に対する意見表明を行いました。

一般会計決算の概要

一般会計では、歳入において、市税や地方消費税交付金が予算に比べ増収となったこと、また、歳出においては、効率的な予算執行に努めた結果、実質収支は31億5,200万円の黒字となりました。



平成29年度一般会計決算の前年度からの主な増減

【】内は主な増減の内容

歳入 (Revenue)	歳出 (Expenditure)
○市税 9億9,700万円 (0.6% ↑) 増 【納稅義務者数の増による個人市民税の増、家屋の新增築の増による固定資産税の増】	○公債費 11億9,900万円 (0.8% ↑) 増 【子ども・子育て支援給付事業費の増、国民健康保険事業への繰出金の増】
○国庫支出金 86億3,300万円 (13.3% ↑) 増 【県費負担教職員の給与負担等移譲による義務教育費国庫負担金の新たな交付、認可保育施設の入所児童数増による子ども・子育て支援給付費収入の増】	○教育費 383億7,800万円 (134.0% ↑) 増 【県費負担教職員の給与負担等の移譲による教職員給与費等の増】
○県支出金 13億600万円 (8.4% ↑) 増 【認可保育施設の入所児童数増による子ども・子育て支援給付費収入の増】	○衛生費 23億2,200万円 (7.7% ↑) 増 【長期貸付を新たに実施したことなどによる病院事業への繰出金の増】
○地方交付税 36億8,700万円 (38.0% ↑) 増 【県費負担教職員の給与負担等の移譲による普通交付税の増】	○総務費 44億9,300万円 (13.4% ↓) 減 【高洲市民プール・体育館再整備事業費の減】